

1 ドローン活用の要望

千葉県はその外周をほぼ海に囲まれており、県沿岸部の広域にわたり保安林に指定され、その機能を維持するため森林病虫害等防除事業において、松くい虫被害木の伐倒駆除及び薬剤防除を実施しているところです。

的確な防除には、確かな被害量の調査が必要ですが、防除対象森林である高度公益機能森林は広域にわたります。

樹冠がうっ閉した状態では衰弱した松を見落としの心配があり、一方で疎林化した松林では下層植生の繁茂が旺盛で、林内の全ての被害木を地上から把握することは困難で、現状は林縁部から目視によるカウントを実施しておりますが、調査の精度はばらつきが多い状況にあります。

2 ドローンの導入により期待される効果

ドローンを活用した上空からの松林撮影画像によって、被害木を分別することができ、確実な被害木の駆除が可能となり、全量駆除により近づくことで被害の拡大を防ぐことが可能となります。

人力で何日もかけて地上から被害木を目視カウントする従来の方法より、格段に調査精度が向上するとともに、大きく労力の削減となることから、現場からの要望の声がありました。

3 現在の状況

森林課にてドローン1台を購入し、森林研究所職員を指導者としてオペレーター育成のための航空法の法令知識や、画像加工の手法、操作の技能を向上させる研修会を実施しております。

次年度は、撮影画像により、区域を再精査し、防除面積の再確認に取り組みます。

将来的には県全域での活用を見据え、複数のオペレーターを配置し海岸林のみならず災害復旧調査や薬剤散布等幅広い活用が期待されます。



PHANTOM4 PRO V2.0



一宮海岸 高度100m